

No.	15-1-2	場所	高森町下市田	次世代への継承キーワード	早期避難 / 避難行動
名称	①雑木や竹を切る出して、惣兵衛堤防の決壊防止に努める住民 ②水防資材をトラクタで運ぶ			河川	天竜川本川
災害現象	堤防決壊			支流	
補足事項	6月27日撮影				

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約500mにわたる惣兵衛堤防は、200年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11名の犠牲者を出した。

●体験談：△△(吉田地区五区住民)

<6月29日>朝六時有線放送は惣兵衛堤防が危険になったから全員堤防に資材を持って集合する様につたえる。全く寝耳に水だ、まさかと思いながらも不安をかくしきれずにぞくぞくと堤防に集まった。行って見て事態の容易ならざるに驚いた。もう堤防には長々と気味悪い亀裂が入り延々と続いて居り天竜の濁流は堤防を越えんばかりに荒れ狂って居る。そして皆黙々として土嚢積み、蛇かご入れが始まった。土を吠に入れる人これがかつぐ人石を手ぐりで渡す人々そして惣兵衛堤防の歴史を物語る巨大な杉の木もおしげもなく切倒され濁流に投込まれた。(中略) あの見なれた巨大な石は轟音と共に濁流にすい込まれる様に消えて行く、そして堤防は細くなって来た。土嚢は積んでは流されして、だんだん後退して行く。(中略) 午後一時「逃げよう」という声に一齐に皆逃げだすと最後の一線をとたのんだ土嚢もあとかたもなく濁流に消へて行く。(中略) 午後二時いよいよ万策つきて涙を吞んで水に追われる様に皆小高い安全な場所に登る。(中略) 不落を誇った惣兵衛堤防も遂に其の姿を消した。 (「災害の市田郷」p.29.30)

記 録



雑木や竹を切り出し、決壊防止につとめる村人たち



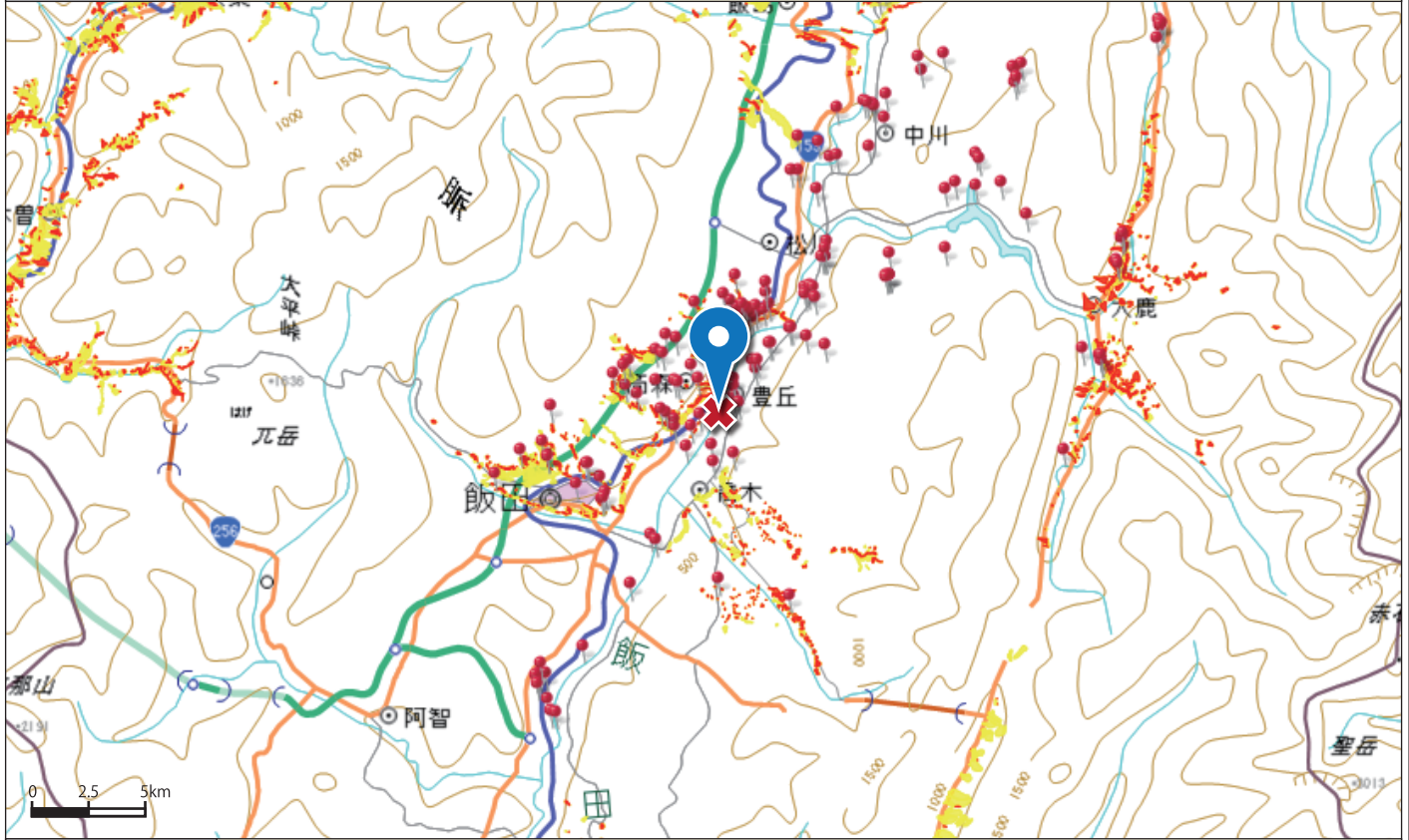
トラクターで水防資材を運搬する村人。前方が天竜川

出典	「高森百年の写真史」/「水害から生命・財産を守りましょう」p.3/「災害の市田郷」p.29、30				
備考					

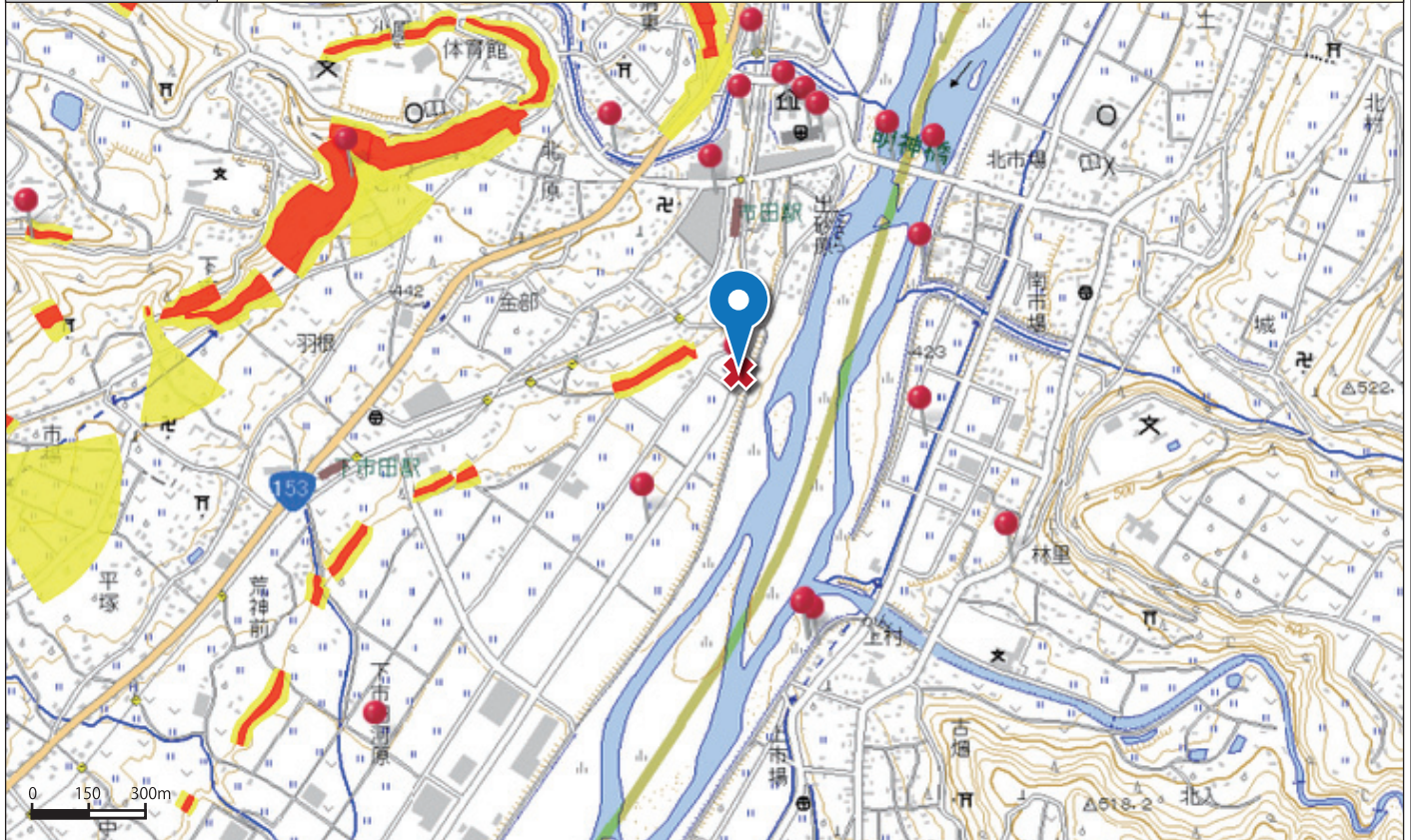
No.	15-1-2	場所	高森町下市田	緯度	35.545863
-----	--------	----	--------	----	-----------

名称	①雑木や竹を切る出して、惣兵衛堤防の決壊防止に努める住民 ②水防資材をトラクタで運ぶ	経度	137.886744
----	-----------------------------------------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。